

牧場町自治会だより

21. 7月号

未だコロナウィルスの猛威止まず

北海道においても新型コロナ感染者数が増加傾向にあるため、今年度の前半に予定している自治会事業の実施について、ワクチン接種の進ちよくや新たな変異株の感染状況なども合わせて考慮した結果、昨年に引き続き今年度の事業を一部見直すこととしました。

中止する事業



- ◇夏休みラジオ体操 [青少年育成部]
- ◇ふれあい見学会 [福祉部]
- ◇ふれあい秋祭り [総務部]
- ◇バス旅行 [女性部]
- ◇きれいな街並みづくり [環境部]
(※希望者に配付後、残った苗は花壇に植えています。)

実施する事業



- 【会計部】
 - ・資源回収協力還元事業
 - ・慶弔金の支出(誕生祝金・弔慰金)
 - ・日赤社資等募金への協力
- 【総務部】
 - ・広報誌の発行
 - ・市自治会連合会との連携
 - ・災害時要援護者の体制づくり
- 【福祉部】
 - ・愛のふれあい事業 見守り支援活動
 - ・新成人・敬老祝品の贈呈
- 【青少年育成部】
 - ・江別地区青少年育成会への参加協力
 - ・地域小中学校事業への参加
 - ・新1年生祝品の贈呈
- 【女性部】
 - ・江別女性団体協議会への参加
- 【環境部】
 - ・防犯灯の整備、防火、衛生対策
 - ・犬、猫等のマナー啓発

今後の状況により判断する事業



- [総務部]
 - ◆新年会
- [福祉部]
 - ◆ふれあいサロンまきば昼食会
- [青少年育成部]
 - ◆ハロウィン・まきばクリスマス会
- [女性部]
 - ◆バス旅行、講習会、講演会、茶話会

牧場町自治会などが要望していた連合会への負担金見直しについて、令和3年度予算で次のように減額されることになりました。

＝減額の理由＝

「市から委託を受けて管理している元町地区センターの運営費の収支について、今後は恒常的に均衡が図られその剰余金の一部を各自治会に求める負担金の財源に充てることのできるため」とのことです。

【牧場町自治会対象分】

改正前 604,500円 ⇒ 改正後 467,000円

ふれあい夏祭りの中止

毎年8月元江別公園において、幼児から高齢者まで多くの地域住民が参加する夏祭りは、昨年度に続いて今年度も安全な形で開催することが困難なため、中止することになりました。

※夏祭りの中止により、令和3年度連合会への負担金はさらに減額となり311,000円です。(令和2年度も中止になったため、448,500円となっています。)

カラスを呼び寄せない、ごみ出しのひと工夫

家庭などから出る生ごみが、カラスを呼び寄せる原因です。カラスは雑食性で非常に賢く、ひとたび目をつけたごみステーションは何度も荒らす傾向にあります。被害を防ぐためには決められたごみ出しのルールとマナーを守り、カラスが来なくなるまで継続して対策を講じなければなりません。ごみステーションに群がるカラスは、地域の環境問題です一人ひとりがごみの減量とごみ出しマナーを徹底しましょう。

1 カラス除けネットでしっかり覆いましょう

ごみ全体を包み込み、重石などを利用して、カラスが簡単にめくれないようにしましょう。ネットが必要なときは環境部長まで連絡ください。
花木 電話 384-5457



2 生ごみを見えなくしましょう

カラスは、優れた視覚を持っていて食べ物を探し出します。生ごみは、十分に水を切ってから小袋に入れ、その小袋を新聞紙などで包み、ごみ袋の中心になるように入れると荒らされにくくなります。

3 ごみ出しのルールを守りましょう

収集日の前日や夜間にごみを出すとカラスにエサを探す時間を与えることとなります。ごみは分別など決められたルールに基づいて、「収集日の朝、8時45分まで」にステーションに出しましょう。